

企画展

ラブラブショー 2

4月28日(金) - 7月2日(日)

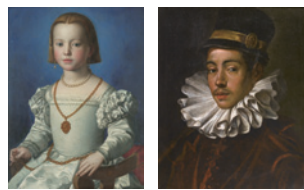
アーティストとアーティスト、作品と作品が出会い、そして作品と個性的な空間が出会う。そこに生まれた、「いま」、「ここ」でしか体感できない作品を楽しむ美術展。「出逢いは愛」・・・、さあ美術館でレッツ・ラブ!

遥かなるルネサンス展

7月28日(金) - 9月10日(日)

観覧料: 一般1,500(1,300)円 高大生1,000(800)円 小中学生無料

今から約430年前、日本の4人の少年が宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノに連れられ、長崎から旅立ち、イタリアを訪れた。「天正遣欧少年使節」として知られる彼らは、ローマやヴェネツィアなど、イタリアの諸都市を訪れ、宮殿や教会で、ルネサンスの円熟した文化に接した。本展では、この4人の日本人の若者の目を通して、16世紀後半のイタリアにおけるルネサンスの豊穡なる美の世界を探求する。



1. フロンズィーノ (アーネロ・ディ・コジモ・トーリ)
《ピア・デ・メディチの肖像》
1542年頃 油彩、板 フィレンツェ、ウフィツィ美術館
Antonio Quattrone, Firenze
2. ドメニコ・ティントレット《伊東マンシヨの肖像》
1585年 油彩、カンヴァス ミラノ、トリヴルツィオ財団

「夢に挑む 洋画をめぐる画家たちの冒険
～明治・大正・昭和 日本と青森の近代洋画史～」展

9月23日(土) - 11月5日(日)

西洋文明の歴史と伝統に深く根ざした技法に挑んだ作家たちによって、日本と青森の洋画はどのように築かれていったのか。茨城県近代美術館、栃木県立美術館のコレクションによる日本近代洋画の充実した作品群とともに、青森県内の美術館・博物館等が所蔵する郷土作家たちの貴重な作品を集め、100点を超える充実した展示で、一世紀以上に及ぶ画家たちの夢と冒険の軌跡を紹介する。日本の洋画の原点ともいえるフランス近代洋画4点も特別展示。

「シャガール — 三次元の世界」展

2018年3月10日(土) - 5月6日(日)

マルク・シャガールの三次元の作品世界を紹介する日本で初めての展覧会。戦後のシャガールは陶磁器や彫刻なども手がけている。本展では画家の初期の絵画作品から三次元的な制作への関心をたどり、後期の彫刻や陶磁器など、あまり知られていない立体的な作品群を紹介する。

コレクション展

コレクション展 2017 - 1

ラブラブショー 2 関連企画

DIALOGUES ダイアローグズ - 作家たちの対話から

3月11日(土) - 7月2日(日)

コレクション展 2017 - 2

遥かなるルネサンス展関連企画

信仰の旅路: Routes of Faith

7月8日(土) - 9月10日(日)

夏の企画展「遥かなるルネサンス」にちなみ、「信仰」や「旅」をキーワードに作品を展示。己の信念のもとに生きた県ゆかりの美術家らの軌跡、戸来村(現・新郷村)のキリストやピラミッド伝承、小川原湖の姉妹伝説といった種々の断片をもとに構成された本展は、ルネサンスの「豊穡なる美の世界」の裏にひそむ青森の芸術世界を旅するための、道しるべの一つとなることでしょう。

コレクション展 2017 - 3

9月16日(土) - 12月10日(日)

コレクション展 2017 - 4

12月16日(土) - 2018年3月4日(日)

マルク・シャガール作「アレコ」
全4作品完全展示

マルク・シャガールによるバレエ「アレコ」の舞台背景画。青森県立美術館が所蔵する3作品と、フィラデルフィア美術館(米国)所蔵の第3幕「ある夏の午後の麦畑」が、「青森県立美術館開館記念展 シャガール『アレコ』とアメリカ亡命時代」展(2006年)以来11年ぶりに全4作品が勢揃いします。

展示期間: 2017年4月25日(火) - 2021年3月(予定)

パフォーマンスアーツ

ドラマリーディングクラブ公演

5月27日(土)

アレコホール定期演奏会2017「Incontro」

—I—7月15日(土) —II—9月30日(土)

三上亮(ヴァイオリン)、佐藤慎悟(ピアノ)による演奏会をアレコホールにて開催。ヴァイオリンは、1628年にニコロ・アマティの手により製作された貴重な一丁。

映画上映会

国内の魅力的な作品を中心に上映会を開催。

「特集・たむらまさきの眼(マナグ)」

10月6日(金) - 9日(月・祝)

本県弘前市出身の映画カメラマン・たむらまさきの撮影・監督作品を特集。

「特集・溝口健二」

10月20日(金) - 22日(日)

世界の映画人から今もなお深い敬愛を受ける日本を代表する映画監督・溝口健二の作品を特集。

秋のおはなし美術館 (仮称)

11月3日(金・祝)、4日(土)

県内の読み聞かせ団体・昔語り団体による、絵本の読み聞かせや昔語りの公演を行う。

演劇公演「津軽の女」(仮称)

12月8日(金)、9日(土)

美術館「演劇部」による、太宰治の作品「燈籠」、「きりぎりす」を原作としたオリジナル演劇公演を開催。

ダンス公演「アレコ2018」(仮称)

2018年2月2日(金)、3日(土)

県内外のダンサーと北海道・北東北の一輪車クラブや演奏家等による、新たな「アレコ」の公演を開催。

〒038-0021 青森県青森市大字安田字近野185

Tel 017 783 3000

Fax 017 783 5244

www.aomori-museum.jp

開館時間

7/1-9/30 9:00-18:00 (入館は17:30まで)

10/1-6/30 9:30-17:00 (入館は16:30まで)

休館日

毎月第二、第四月曜日(祝日の場合は翌日)および12/27-12/31

※企画展開催、展示替え等により変更する場合有

観覧料(コレクション展)

一般 510円(410円)

高校生・大学生 300円(240円)

小学生・中学生 100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金

※企画展は別料金

アクセス

JR新青森駅から車で約10分

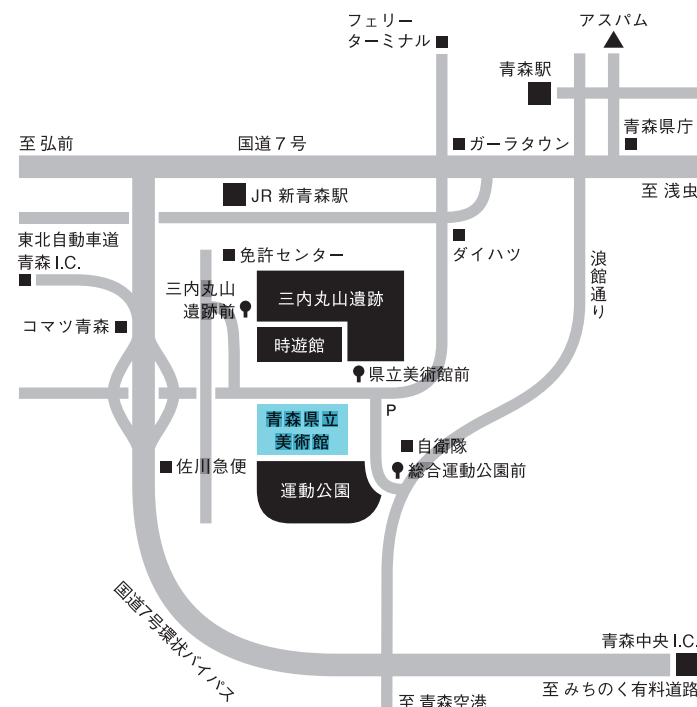
青森駅から車で約20分

青森空港から車で約20分

東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分

市営バス青森駅前6番バス停から三内丸山遺跡行き

「県立美術館前」下車(所要時間約20分)



青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART